

# Johann Emerichによる ミニアチュア印刷の工夫

慶應義塾大学大学院  
西川和

# ミニアチュア・インキュナブラ(MI)とは

- 15世紀印刷本

印刷面  
~8.2cm

外側  
~12cm

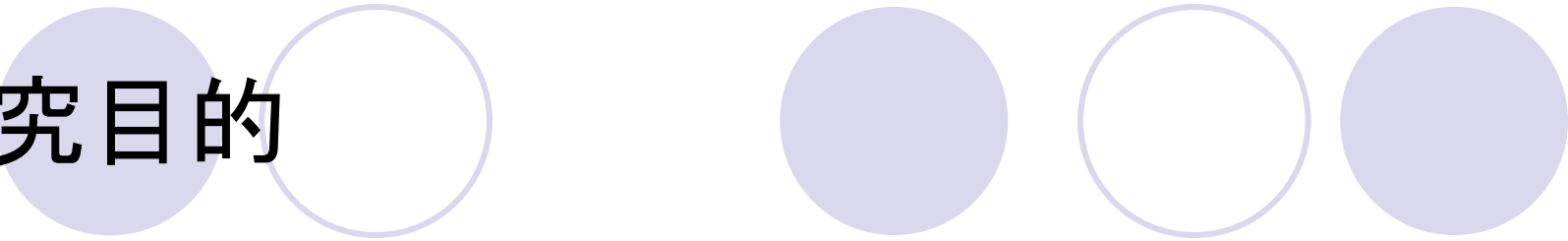
Benedictus, S.Regula [German].[Memmingen: Albrecht Kunne, about 1485-90]

Bayerische Staatsbibliothek, München [<http://nbn-resolving.de/urn/resolver.pl?urn=urn:nbn:de:bvb:12-bsb00034115-7>]より

# MIの特徴



- キリスト教に関するものがほとんど
- ヴェネツィアでの印刷が多い
- 大手印刷者による印刷が多い
  
- 難しい楽譜を印刷もしている者もいる
  - ヴェネツィアでは多い
  - 技術が高く挑戦的



# 研究目的

- MI印刷の工夫を探る
- 対象は代表的な印刷者→Johann Emerich

# Emerichとは

- ヴェネツィアの印刷者
- MIを12タイトル印刷
  - 世界最多
- キリスト教に関するものが多い
  - MIは時禱書、聖務日課書、詩編

# EmerichのMIの特徴



- 時祷書

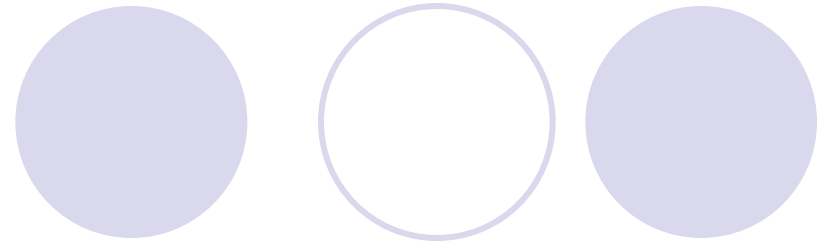
- 挿絵が入っている
- 豪華な彩色がされている(利用者による)

- 聖務日課書

- 挿絵がない
- 2段組で活字が小さい

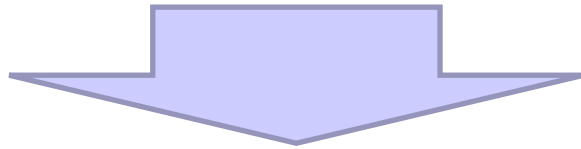
# 研究課題1

## 印刷時の組版



- 印刷時の組版

- どのようにMIを作っていたのか



- 折丁の詳細を目録から調査する

- 判型

- 校合式

# 折丁の構造

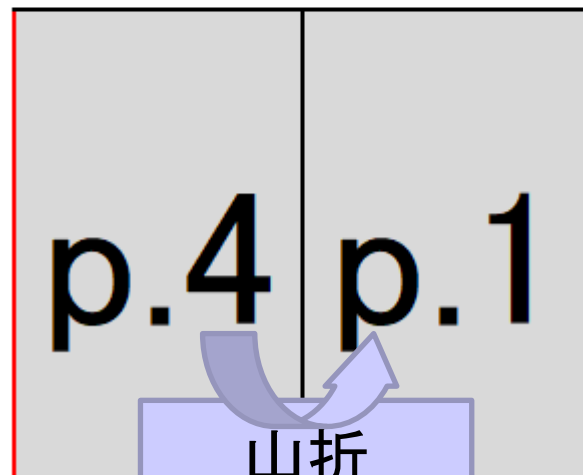
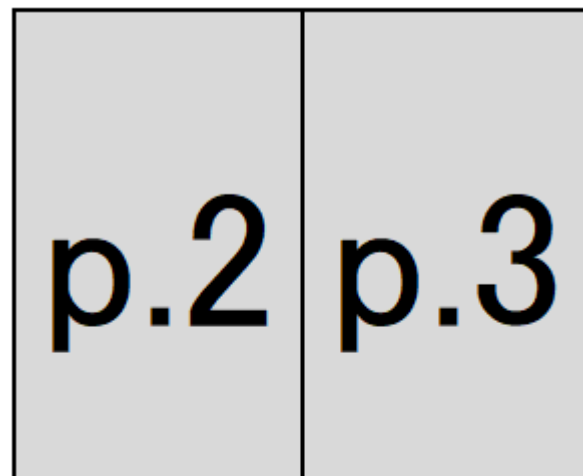
- 版には複数のページが含まれている



- 書物の作成過程がわかる
- ページ見積もりが重要
- 小さいとこまかくなる

※赤線部は紙の同じ端

2折版の場合





# 折丁の構造

4折版の場合

- 版には複数のページが含まれている



- 書物の作成過程がわかる
- ページ見積もりが重要
- 小さいとこまかくなる

※赤線部は紙の同じ端

p.6 9:d	p.7 7:d
p.3 3:d	p.2 2:d
p.8 8:d	p.5 5:d
p.1 1:d	p.4 4:d

# 判型とは

- 紙を何回折って折丁を作るか
- 古典籍では必須

# 校合式とは

- どのように折丁を並べて書物を作るか
- 折丁記号から判断できる
- 例 : a-v<sup>8</sup>
  - aからvまで20の折丁
    - jとuはラテン語にはない
  - 各8葉ずつで構成されている
- 目録にも記録されている

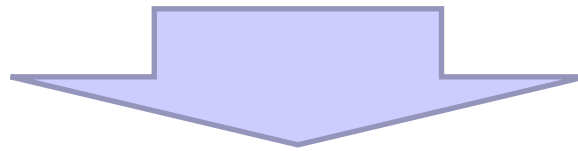


折丁bの3枚目

# 研究課題2

## 内容

- 時禱書の内容は同じか
  - ローマ式の時禱書
  - 内容はいつも同じなのか？
  - 版ごとに異なるのか？

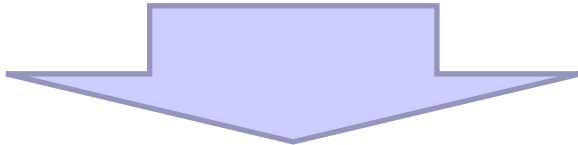


- 印刷上の工夫
- さらに出版上の工夫

# 研究課題2 内容

- h02、h06、h07

- 入手したh07は不完全だが、現存する部分を見る



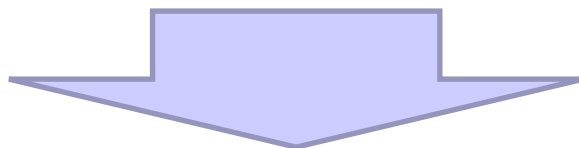
- すべてのページの画像で調査する

- ① 文章が一致しているか1文ずつ確認
  - ② 活字の配置やずれを詳細に確認

# 研究課題3

## 改ページ位置の調整

- 組版のページ見積もりは重要
- 他の版と改ページ位置を一致させれば見積もりが楽



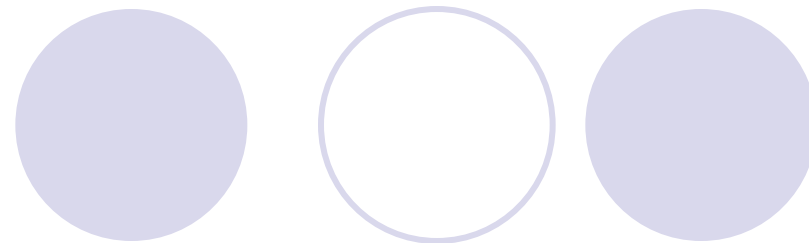
- ① 改ページ位置は一致しているのか
- ② 一致しているなら一致させる工夫はあるのか

# 研究課題3

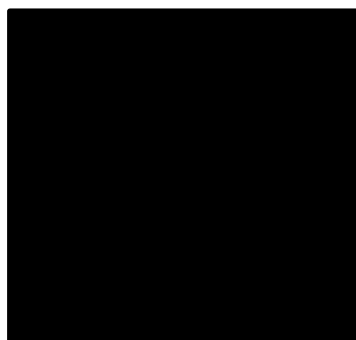
## 改ページ位置の調整

- h02とh06
  - 入手したh07は不完全なので対象外
- ① 改ページ位置は一致しているのか
  - 全ページを対象に画像で調査
- ② 一致させるための工夫・努力があるのか
- 略字・縮約形の使用頻度の調査
  - 特徴的な折丁を対象に画像で調査

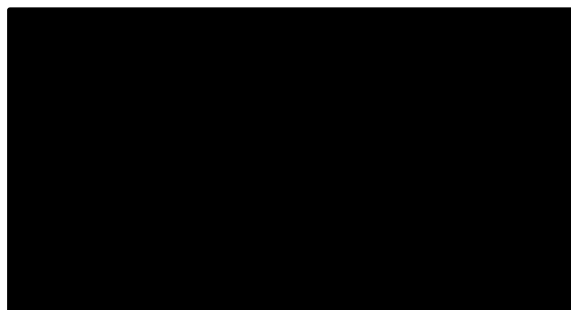
# 略字と縮約形



- 単語の一部または全部を置き換える
  - 綴りを短くすることができる



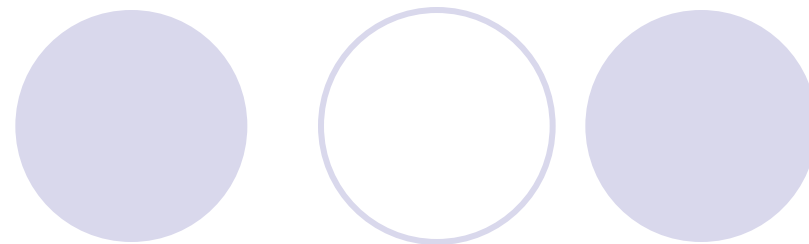
- etの略字



- Oratioのうちatiを縮めている



# 略字と縮約形



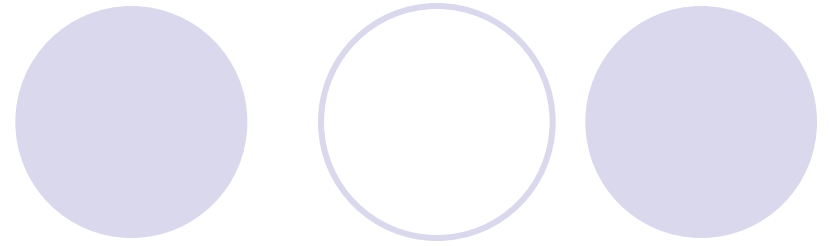
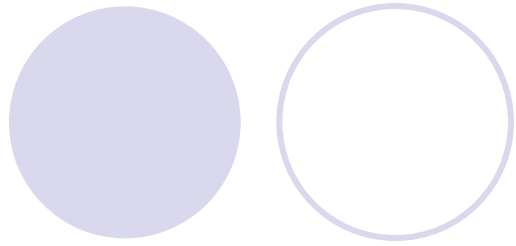
- 略字と縮約形を単純に数える

- 1つの縮約形で何文字省略していても1つ

- 1単語に2つの縮約形が用いられている場合は2つ



この場合3つと数える

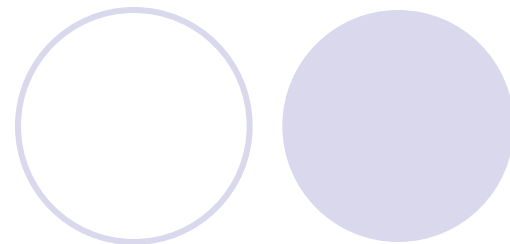


# 調査結果

## 研究課題1 印刷時の組版

# 印刷時の組版 紙の場合

## 聖務日課書(b01、b02)



- 判型 = 何回折って折丁を作ったか
- 全紙の16折版では1つの折丁は16葉
  - 2折版 → 2葉
  - 4折版 → 4葉
  - 16折版 → 16葉

# 印刷時の組版 紙の場合

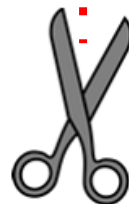
## 聖務日課書(b01、b02)

- 実際は1つの折丁は4葉から12葉
- 全紙ではなく半裁紙に印刷
  - 印刷したものを製本前に切り、折丁を作る

p.4	5.d	p.24	71.d
p.13	21.d	p.25	23.d
p.16	6.d	p.28	62.d
p.1	8.d	p.21	02.d



p.18	82.d	p.6	8.d
p.31	92.d	p.11	41.d
p.30	72.d	p.10	51.d
p.19	22.d	p.7	2.d

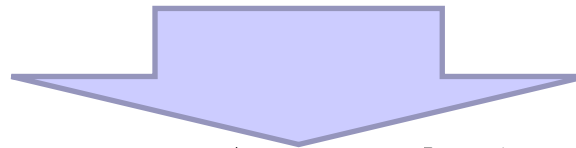


※赤線部は紙の同じ端

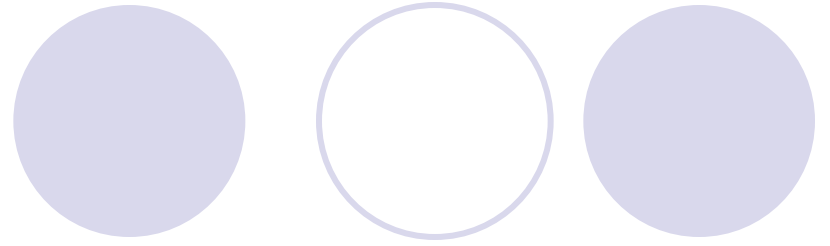
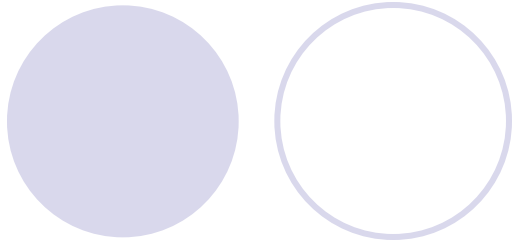
Gaskell, P. A New Introduction to Bibliography. Clarendon Press, 1972, 438p.をもとに作成

# 印刷時の組版 羊皮紙の場合 時禱書(h01～h08)

- 羊皮紙には鎖線等がない
  - 全紙のサイズがわからない
  - 本のサイズを元に判型を推定
- ほとんどが同じ校合式「a-v<sup>8</sup>」
  - 1つの折丁は8葉



- 半裁紙と同じ版の組み方をしていた
  - 小さな羊皮紙に印刷していた可能性もある



# 調査結果

## 研究課題2 内容

# 内容 文章 h02とh06の比較

- 挿絵や表題紙は異なる

- h02 → 8行前後の小さな挿絵

- h06 → 全ページ大の挿絵

h02

h06

# 内容 文章 h02とh06の比較

- 全体の構造は一致

- カレンダー → 同じ祝日を記録

- ※ 時禱書のカレンダーは万年カレンダー

- 6つの章 → タイトルも並び順も一致



# 内容

## 文章 h02とh06の比較

- 折丁aからsの半ばまで(全体の9割弱)

- 同じ文章が同じ順序で並ぶ

- ※ 折丁bのうち1~2ページを除く

- 折丁sの後半、折丁tと折丁v(残り1割強)

- 同じ文章だが書かれる順序が違う

- 片方の時禱書に独自の文章

それぞれが  
半分ずつ

内容

活字の配置 h06とh07の比較

● 折丁a

h06

h07

内容は同じ  
活字はずれている

内容

# 活字の配置 h06とh07の比較

● 折丁b

h06

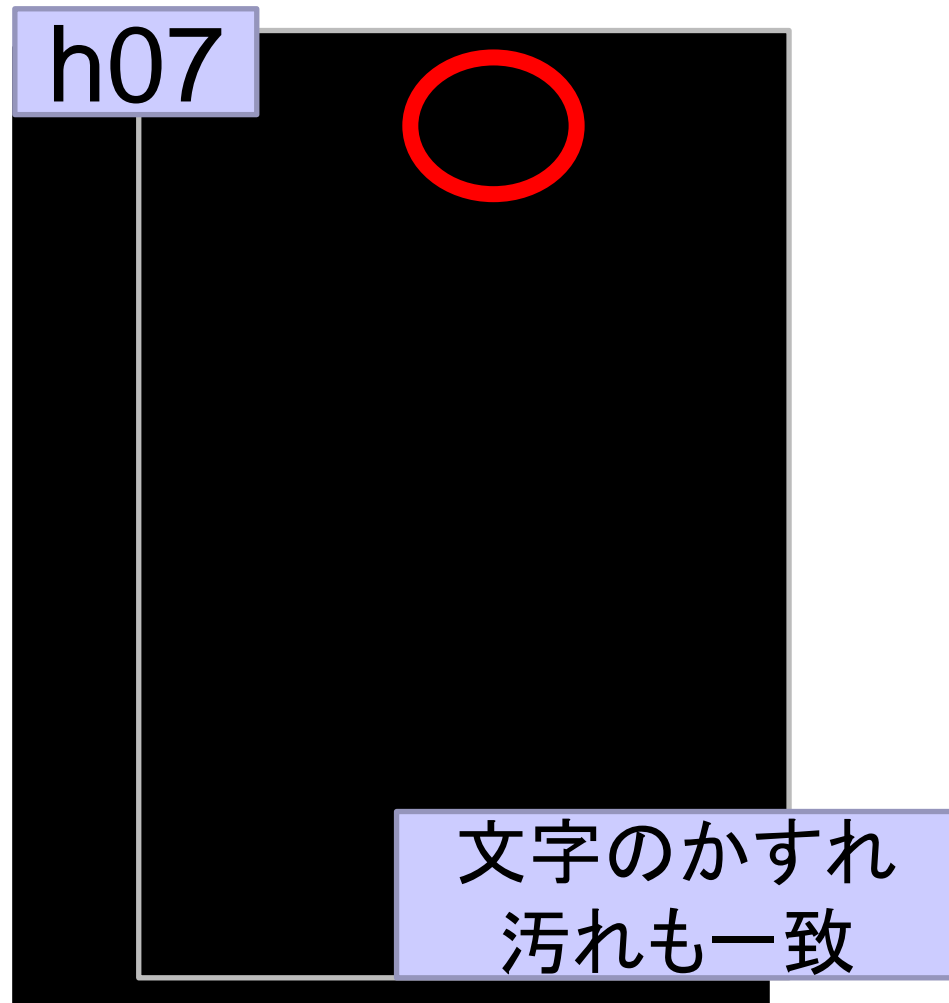
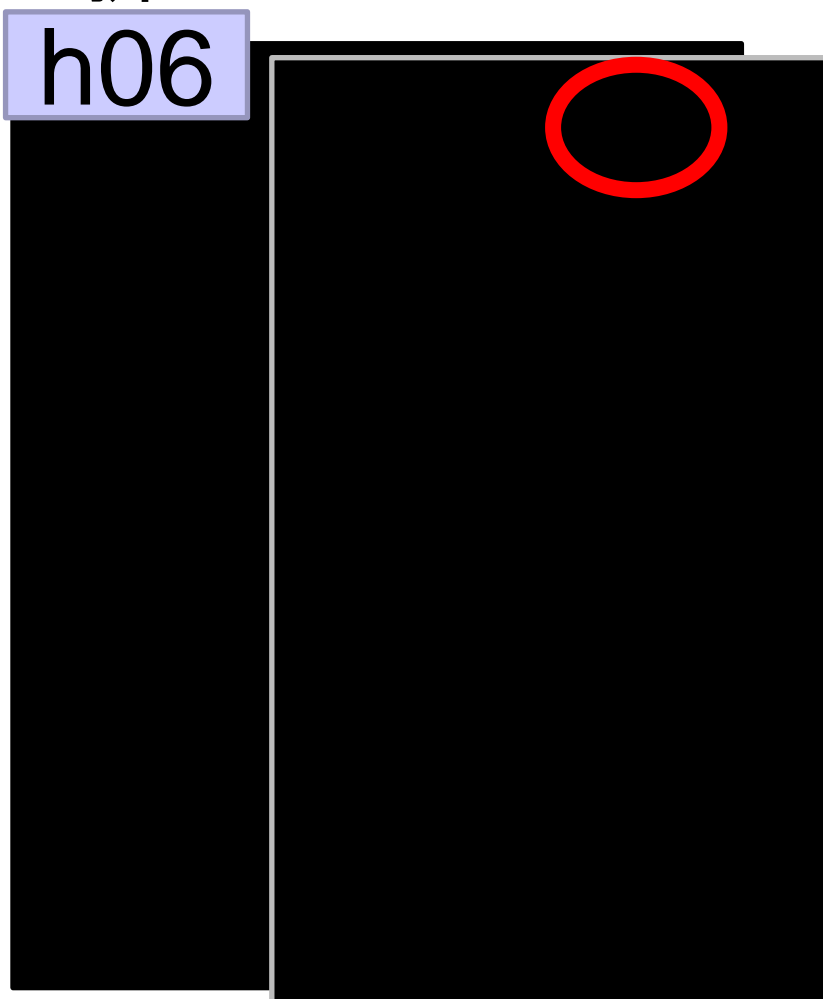


h07



# 内容 活字の配置 h06とh07の比較

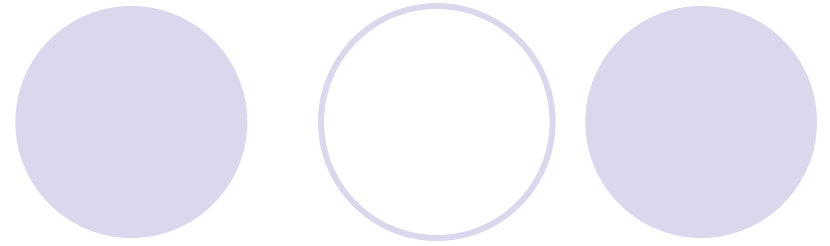
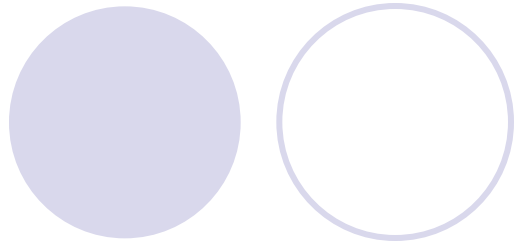
● 折丁b



内容

## 活字の配置 h06とh07の比較

- 折丁が完全に一致することは少ない
- 印刷物を取っておいた？
  - h06の余った折丁をh07で利用した
- 版を取っておいた？
  - h06で使った版を崩さず、組んだまま置いておいた



**調査結果**

**研究課題3 改ページ位置の調整**

# 改ページ位置の調整 折丁hの改ページ

h02

h06

# 改ページ位置の調整 折丁hの改ページ

h02

h06

同じ語で始まり  
同じ語で終わる



# 改ページ位置の調整 略字と縮約形

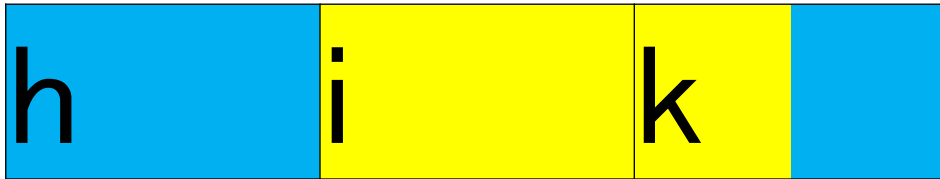
## h02とh06の各折丁での改ページ位置

a	b		c	d	e
f	g	h	i	k	
l	m	n	o	p	
q	r	s	t	v	

- 青 文章と改ページが一致
- 黄 文章は一致するが改ページは違う
- 赤 文章が違う(順序が違うor独自の文章)

# 改ページ位置の調整 略字と縮約形

- 改ページ位置を合わせる工夫があるのでは？



- 折丁h
  - 改ページ位置が一致
- 折丁i
  - 改ページ位置が大きくなる
- 折丁k
  - 改ページ位置を途中で一致させている

略字や縮約形の  
使い方が違う？

# 改ページ位置の調整 略字と縮約形

	h02			h06		
	略字等	行数	1行当り	略字等	行数	1行当り
折丁h	198	256	0.8	279	256	1.1
折丁i	243	250	1	453	234	1.9
折丁k 前半	216	155	1.4	148	141	1
折丁k 後半	107	96	1.1	129	96	1.3

# 折丁i 7枚目裏の比較

h02

h06

h06はこの挿絵を入れるため  
略語や縮約形で文章を短くしている

# 折丁k 3枚目表の比較

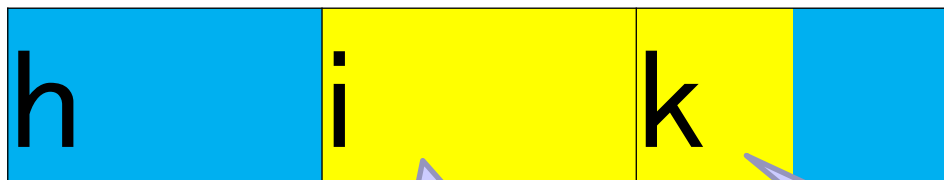
h02

h06

h06はこの挿絵がないので  
文章を長くして改ページ位置を合わせている

# 改ページ位置の調整

- 改ページ位置を合わせる工夫がある

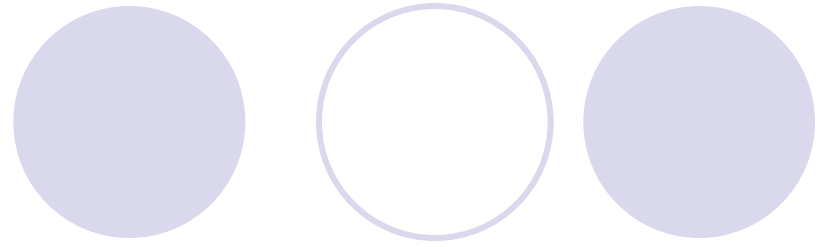
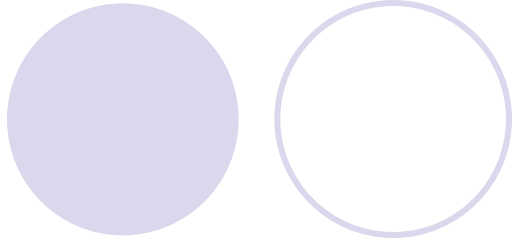


## 【折丁i】

h06は多くの略字と縮約形を使って改ページをずらし、挿絵のページをとっている

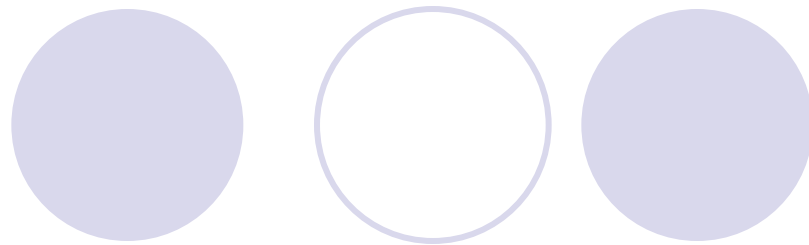
## 【折丁k前半】

h06は略字と縮約形を減らして挿絵がない分のずれを調整している



**結論**

# 印刷時の組版



- 1つの折丁は8葉程度
- 全紙ではない
  - 作りなれた8折版に近い組版?
  - 小さくて分厚いと製本がむつかしい?



# 内容



- 版ごとに内容を変えている
  - 挿絵や標題紙の変更
  - 文章の順序の入れ替え
  - それぞれの版に独自の文章
- 売り上げを増やすためか

# 内容



- 全く同じ折丁が複数の版にある
- さらなる調査が必要
  - 時禱書はベストセラーなので使いまわせた
  - MIIは折丁が小さいので取り置きしやすい

# 改ページ位置の調整

- ページ見積もり
  - 自分のMIの時務書を参考にしている
- 略字や縮約形に使用頻度を変える
  - 文章の長さを調整
  - 改ページ位置を整える
- ページ見積もりを容易にする工夫がある

# 様々な工夫



- 組版時に折丁を8葉程度にする
- 内容を版ごとに変える
- 折丁(または組版)を使いまわす
- 略字や縮約形を活用し改ページ位置を調整